

Passing the Light

灯をつなぐ

第52回日本小児眼科学会総会

募金趣意書

会 期： 2027年6月18日(金)～ 19日(土)

会 場： 天童ホテル

会 長： 彦谷 明子（浜松医科大学医学部眼科学講座）



ご挨拶

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、第52回日本小児眼科学会総会を、2027年6月18日(金)、19日(土)の2日間、林思音先生が主催される第83回日本弱視斜視学会総会会長と合同で山形県天童市の天童ホテルで開催させていただくこととなりました。

小児の眼疾患は多岐にわたっており、屈折異常や斜視、それらに伴う弱視、前眼部形成異常、先天白内障や緑内障、未熟児網膜症、網膜剥離、遺伝性網膜ジストロフィ、視神経疾患、腫瘍などがあり、多くの難治な疾患も存在します。しかし、このような小児の疾患群に対しても近年では検査・診断技術が進歩し、新たな治療法の開発や臨床応用が進んでいます。本合同学会のテーマである「灯をつなぐ」は、単に2つの学会の架け橋という意味だけでなく、小児の眼に関する様々な領域の医師や医療関係者が互いに密に協力して小児の眼の健康を守ろうという強い意志が込められています。

本会のハイライトである特別講演は、筑波大学教授の大鹿哲郎先生をお願いいたしました。また、小児眼科の各領域の最新の話題に関するシンポジウムを米国小児弱視斜視学会(AAPOS)と合同で開催し、国際的な知見を得る他に、2学会合同の講習会も企画しております。

皆様にとって参加しやすく、明日からの臨床に役立つ有意義な学会となるように林先生と共に鋭意準備しております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

また、学会の運営は、参加費をもって賄うべきではありますが、近年の物価高に加えて更に学会発表、教育には多大の費用がかかるのが現状です。質素儉約を旨として運営を行い、参加費を集めましてもまだ多額の不足が予想されます。

つきましては、本学会開催の趣旨を充分にご理解いただき、何卒貴社のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

諸費用ご多端の折、誠に恐縮ではございますが、諸事情をご賢察の上、何卒ご高配の程、重ねてお願い申し上げます。

末筆ながら貴社のますますのご発展をお祈り申し上げます。

謹言

2026年6月吉日

第52回日本小児眼科学会総会
会長 彦谷 明子
(浜松医科大学医学部眼科学講座准教授)



開催概要

1. 学会名称
第52回日本小児眼科学会総会
公式ホームページ：<https://www.jasa-japo2027.jp/>
2. 会期
2027年6月18日（金）・19日（土）
3. 会場
天童ホテル
〒994-0025 山形県天童市鎌田本町2丁目1-3 TEL：023-654-5511
4. 参加人数
1,500名（予定） ※合同開催となる第83回日本弱視斜視学会総会への参加者を含みます。
5. 組織構成
会長：彦谷 明子（浜松医科大学医学部眼科学講座准教授）
6. プログラム（予定）

| 日程 | 時 | 講演会場 | 展示会場 |
|--------------|----|--|--------------|
| 6月18日 （金） | 午前 | JASA-JAPO-AAPOS Joint Symposium、開会式 | ポスター 器械展示 |
| | 昼 | ランチョンセミナー | |
| | 午後 | 日本弱視斜視学会総会、日本斜視弱視学会弓削賞受賞記念講演、日本小児眼科学会特別講演、日本弱視斜視学会シンポジウム、アフタヌーンセミナー、一般口演 | |
| 6月19日 （土） | 午前 | モーニングセミナー、一般口演、視能訓練士プログラム、日本小児眼科学会総会、日本小児眼科学会賞受賞記念講演 | ポスター 器械展示 |
| | 昼 | ランチョンセミナー | |
| | 午後 | 日本弱視斜視学会特別講演、日本小児眼科学会シンポジウム、アフタヌーンセミナー、一般口演、閉会式、日本弱視斜視学会・日本小児眼科学会 合同講習会 | |

7. 企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインについて
各種共催申込に関しまして、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「共催企業様と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を公開することについて了承いたします。
8. お問い合わせ先
第83回日本弱視斜視学会総会 第52回日本小児眼科学会総会 合同開催運営事務
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-4-7 スタッフルームタケムラ有限会社内
TEL：03-5287-3801
E-mail：jasa-japo2027@staffroom.jp

9. 収支予算

| 収入の部 | | |
|------------|-------|-------------------|
| 1. 参加登録費収入 | 早期 | 8,160,000 |
| | 事前 | 7,100,000 |
| | 当日／追加 | 1,450,000 |
| 2. 講習会 | | 1,000,000 |
| 3. 理事懇親会 | | 93,000 |
| 4. 共催費 | | 8,140,000 |
| 5. 広告費 | | 2,156,000 |
| 6. 出展料 | | 3,355,000 |
| 7. 寄附金等 | | 4,900,000 |
| | 収入合計 | 36,354,000 |

| 支出の部 | |
|------------|-------------------|
| 1. 会場費 | 5,370,000 |
| 2. 機材費 | 4,956,000 |
| 3. 講習会運営費 | 1,650,000 |
| 4. 看板・設営費 | 4,355,000 |
| 5. 講師謝礼金 | 2,000,000 |
| 6. 印刷費 | 3,800,000 |
| 7. 当日運営費 | 4,320,000 |
| 8. 会議費 | 4,540,000 |
| 9. ホームページ費 | 495,000 |
| 10. 郵送費 | 600,000 |
| 11. 業務委託費 | 3,460,000 |
| 12. 事後処理費 | 330,000 |
| 13. 予備費 | 478,000 |
| | 支出合計 |
| | 36,354,000 |

寄附金募集要項

- **募金の名称** 第52回日本小児眼科学会総会
- **募金目標額** 1,000,000円
- **募金期間** 2026年6月5日（金）～2027年6月17日（木）
※2027年5月以降のお申込は、プログラム・講演抄録集に企業名の掲載が出来ない場合があります。
- **寄附金の使途** 第52回日本小児眼科学会総会の準備、及び運営経費
- **募金責任者** 彦谷 明子（浜松医科大学医学部眼科学講座 准教授）
- **展示・寄附金を必要とする理由**
本学会には約1,500名の参加者が見込まれていますが、会議の準備、運営に要する費用は、総額約36,354千円が必要と推算され、その不足は覆うべくもなく、諸団体および諸企業の方々のご支援を仰がざるを得ないのが実状でございます。つきましては、上記の趣旨をご理解いただき、何卒、貴社の御支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげます。諸費用ご多端の折、誠に恐縮に存じますが、重ねて皆様のご支援、ご協力の程お願い申しあげます。
- **お申し込み方法・お申し込み期限**
オンラインによるお申込となります。本総会ホームページの、[企業の皆様へ] ページより、お申込みください。
なお、ご寄附をいただきました企業には、プログラム・講演抄録集への企業名記載を予定しておりますが、2027年5月以降にお申し込みをいただきました企業につきましては、企業名の記載が対応出来ない場合がございますので、予めご了承ください。
- **寄附金口座：下記の口座へお振り込みください。**
振込先銀行：東京信用金庫 高田馬場支店 普通 4137183
第52回日本小児眼科学会総会（ﾀﾞｲ52ｶｲﾆﾎﾝｼﾞョウ=ｶﾝｶﾞｯｶｲｸｶｲ）
※寄附金に対する免税措置はご用意しておりませんので、予めご了承ください。
また、寄附金に対する請求書の発行は行っておりませんので、ご承知おきください。
- **お申し込み・お問い合わせ先**
第83回日本弱視斜視学会総会 第52回日本小児眼科学会総会合同開催運営事務局
スタッフルームタケムラ有限会社内
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-4-7
TEL：03-5287-3801 E-mail：jasa-japo2027@staffroom.jp